

# 各施策の連携のポイント

## 地域振興施策

### 多面的機能支払交付金 (H26～)

#### ○農地維持支払交付金

- ・農地・水路・農道等の地域資源の基礎的保全活動
- ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、**地域資源保全管理構想の作成**

#### ○資源向上支払交付金(共同)

- ・水路、農道等の軽微な補修、農村環境保全活動
- ・多面的機能の増進を図る活動

- ・担い手の確保・育成
- ・適切な保全管理に向けての活動・方策

#### ○資源向上支払交付金(長寿命化)

- ・施設の長寿命化のための活動

- ハード事業の選択
- 小規模:多面的(長寿命化)
- 大規模:補助事業活用

### 中山間直接支払交付金 (H27～4期対策)

- ・条件不利地での事業取り止め増加が懸念
- ・集落内の人材だけでは農地を保全しきれない
- 新たな担い手の確保・育成は急務**

- 事業化に向けた準備
- ・日常点検の啓発・推進
- ・事業管理計画の作成
- ・事前評価

## 産業振興施策

### 京力農場プラン(人・農地プラン)

- 集落(地域)での話し合いにより、
- ・集落(地域)の目指す姿を作成
- ・担い手の確保・育成や農地利用のあり方、耕作放棄地の防止等を検討
- 定期的な話し合いの中で変更があれば、随時変更可能

- ・多面的交付金の高い取組率と話し合いの機会を活用し、プラン作成を推進
- ・地域資源保全管理構想はプランとも重複

- ・機構から地域への担い手情報の提供
- ・地域の話し合いに基づく農地の集積

### 農地中間管理事業

- ・公的機関である農地中間管理機構による農地の借受・担い手への貸付
- ・簡易整備の実施
- ・プランに基づく**機構集積協力金**の交付

- ・営農継続困難農地への利用権設定
- ・新たな担い手による集落活動への参加
- ・集積後の担い手の施設管理に係る負担軽減

農地利用の最適化

### 基盤整備の実施

#### ○地域で担い手に入ってもらえるような条件整備！

- ・ほ場整備により京力農場プランに位置づけた担い手に農地集積
- ・ほ場整備ができなくても水路や農道の整備を！

#### 重点区域等への優先的予算配分

(簡易な整備や施設改修なども、**予算獲得には農地中間管理事業との連携が強く求められるようになってきています！**)

#### ハード事業地元負担金軽減措置

- ・集積率に応じた促進費の交付(地元負担金として充当)

プラン作成等により農地流動化の話し合いができていない地域を農地中間管理事業「**重点実施区域**」に設定

- ①力強い農業構造の構築
- ②地域ぐるみの協働活動

による京都農業の持続的発展と地域活性化を目指す！